



2019年11月7日  
東日本旅客鉄道株式会社  
JR東日本スタートアップ株式会社

～JR 東日本スタートアッププログラム 2019 の採択企業について～

## 21 件の提案を採択、DEMO DAY（発表会）で“スタートアップ大賞”を決定します！

- 東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR 東日本」）と JR 東日本スタートアップ株式会社（代表取締役社長：柴田裕）は、ベンチャー企業や優れた事業アイデアを有する方々との協業によるビジネス創造活動「JR 東日本スタートアッププログラム」を進めてきました。
- 第三回目の今回は、さらなるオープンイノベーションを推進するため、JR 西日本・JR 九州グループと連携する「エリア拡大」、新潟市の資源を活用する「地域連携」、国際交流拠点を目指す新駅「高輪ゲートウェイ駅」の開業を見据えた「グローバル」の3つフィールドを新たに設けました。
- 2019年4月から参加を募り、合計262件の提案の中から、21件を採択しました。
- 採択した提案および協業内容の DEMO DAY（発表会）を2019年11月28日（木）に開催し、優れた提案に対して総合グランプリの「スタートアップ大賞」、「優秀賞」を決定します。採択企業は JR 東日本グループと協業し、順次テストマーケティングを行っていきます。

### 1. 「JR 東日本スタートアッププログラム」とは

ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案を募り、ブラッシュアップを経て実現していくプログラムです。2017年度に初めて開催し、これまでに計42件の提案を採択。鉄道事業や IT 事業など幅広い分野の実証実験を行い、一部の取組みは実用化にいたりしました。なお、内閣府主催の2018年度第1回日本オープンイノベーション大賞において、経済産業大臣賞を受賞しました。

### 2. 採択企業

自社の製品・サービスまたはプロトタイプを有する、概ね起業10年以内の企業を対象に、年度内にテストマーケティングを実施することを目指します。また、起業または起業後間もない方についても JR 東日本グループにおける事業アイデアの採用や当社グループの支援のもと事業の具体化を検討していきます。5月31日（金）までの応募期間中に262件のご提案をいただき、書類審査とプレゼン審査を経て、協業内容を検討してきました。その結果、「エリア拡大」「地域連携」「グローバル」テーマの提案を含む21社を採択し、年度内にテストマーケティングを行います。

#### 【採択企業一覧】

アルファベット	株式会社名	株式会社名	株式会社名
R	フルーカス株式会社	株式会社アドレス	株式会社VILLAGE INC
Q	株式会社QBIT Robotics	農業生産法人 株式会社グリーングリーン	株式会社コークッキング
C	コネクテッドロボティクス株式会社	シーベークラウド CBcloud株式会社	株式会社ZMP <span style="color:red">グローバル</span>
S	株式会社センサーズ・アンド・ワークス	株式会社タイミー	株式会社NearMe <span style="color:blue">地域連携</span>
N	日本環境設計株式会社 <span style="color:red">グローバル</span>	一般社団法人Next Commons Lab	株式会社バイオーム <span style="color:green">エリア拡大</span>
P	ピクシーダストテクノロジーズ株式会社	株式会社ブイシंक	ブランテックインターナショナル株式会社
H	株式会社ヘラルポニー <span style="color:red">グローバル</span>	MIRAI SAKE COMPANY株式会社 <span style="color:blue">地域連携</span>	株式会社Liberaware

**エリア拡大**・・・JR 西日本・JR 九州グループと連携した協業プラン

**地域連携**・・・新潟市の資源を活用した協業プラン

**グローバル**・・・国際交流拠点を目指す新駅「高輪ゲートウェイ駅」の開業を見据えた協業プラン

※詳細については別紙をご覧ください。

### 3. DEMO DAY (発表会) について

審査により採択された 21 件の提案の中から、社外審査員を交えてスタートアップ大賞、優秀賞を決定します。なお、受賞企業および受賞者につきましては、後日、HP(<http://jrestartup.co.jp/program/>)にてお知らせします。

#### (1) 開催日

2019 年 11 月 28 日 (木)

#### (2) 審査員

株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ	代表パートナー	仮屋 薫 聡一氏
株式会社プロノバ	代表取締役社長	岡島 悦子氏
守屋実事務所	代表	守屋 実氏
東日本旅客鉄道株式会社	常務取締役事業創造本部長	新井 健一郎
	常務取締役総合企画本部長	喜勢 陽一



**仮屋 薫 聡一**  
株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ  
代表パートナー

グロービス・キャピタル・パートナーズでは世界各国の機関投資家などより累計 1000 億円超の資金を預かり、日本における有望ベンチャー企業へ、成長のために必要となる「ヒト (人材)」「カネ (資金)」「チエ (経営ノウハウ)」の総合的な支援を行っている。



**岡島 悦子**  
株式会社プロノバ 代表取締役社長

経営チーム強化コンサルタント、ヘッドハンター、リーダー育成のプロ。三菱商事、ハーバード MBA、マッキンゼー、グロービス・グループを経て、2007 年プロノバ設立。丸井グループなど他 8 社にて社外取締役。世界経済フォーラムから「Young Global Leaders 2007」に選出。著書に『40 歳が社長になる日』(幻冬舎) 他。



**守屋 実**  
守屋実事務所 代表

新規事業立上げのプロフェッショナル。株式会社ミスミを経て、株式会社エムアウトの創業に参画、2010 年、守屋実事務所を設立、ラクスル株式会社、ケアプロ株式会社の立上げに参画、副社長を歴任後、ブティック株式会社、株式会社セルムなどの経営に参画する。

#### 4. STARTUP\_STATIONの展開について

採択企業との協業プランのご紹介と、一部の協業プランのデモンストレーションを目的として、以下のとおりSTARTUP\_STATIONを展開します。

(1) 開催日時

2019年12月4日(水)～2019年12月9日(月) 各日11:00～18:00

※12月4日のみ14:00から

(2) 場所

STARTUP\_STATION (大宮駅西口イベントスペース)

(3) 展開内容

後日発表予定

#### JR 東日本スタートアップ株式会社とは

JR 東日本スタートアップ株式会社は、JR 東日本グループとスタートアップ企業との共創を推進するコーポレートベンチャーキャピタルです。

所在地：東京都新宿区西新宿 1-1-6 12SHINJUKU 1201

代表者：代表取締役社長 柴田 裕

株 主：東日本旅客鉄道株式会社 (100%)

設立日：2018年2月20日

出資枠：50億円

連絡先：E-mail [info@jrestartup.co.jp](mailto:info@jrestartup.co.jp)

ホームページ <http://www.jrestartup.co.jp>




あなたの夢を未来へつなぐ  
『明日』創造ステーション


- (1) <sup>フルエフ</sup>RFルーカス株式会社（代表取締役：上谷 一）

	<b>「電波高度解析による物品管理のスマート化」</b> 電波位相解析で高精度な RFID タグの位置特定技術を災害備蓄品・保管書類の管理倉庫に導入することで、物品管理の効率化と、トレーサビリティの向上を実現します。
	実施箇所：横浜支社
	実施期間：2019年2月頃～


- (2) 株式会社アドレス（代表取締役社長：佐別当 隆志）

	<b>「JR 東日本のインフラを活用したリーズナブルで快適な多拠点生活の実現」</b> 定額住み放題サービスに、新たな拠点としてホテルを提供し、更に JR 東日本の交通インフラを掛け合わせることで、多拠点生活におけるリーズナブルで快適な生活の実現を目指し、更なる移動の創出を行います。
	実施箇所：ファミリーオみなかみ含む東北エリア他
	実施期間：2019年12月頃～2020年3月末


- (3) <sup>ヴァイレッジ インク</sup>株式会社VILLAGE INC（代表取締役：橋村 和徳）

	<b>「無人駅におけるエクストリームグランピング」</b> 無人駅の遊休資産を活用したグランピング施設を展開するとともに、地域の HUB となるコミュニティスペースを創出して、無人駅の価値向上を目指します。
	実施箇所：土合駅
	実施期間：2020年2月～3月頃


- (4) <sup>キュービット ロボティクス</sup>株式会社QBIT Robotics（代表取締役会長 兼 CSO：狩野 昌央）

	<b>「最先端 AI 技術を使った無人ロボットパスタカフェ」</b> 最先端の AI と制御技術を駆使したロボットアームを活用した新感覚のロボットカフェを展開。雇用・労務管理問題を解決するために効率化を実現しつつ美味しいパスタ料理を提供。併せてロボットと人に楽しいコミュニケーションをデザインし実証してまいります。
	実施箇所：STARTUP_STATION（大宮駅西口イベントスペース）
	実施期間：2019年12月


- (5) 農業生産法人 株式会社グリーンズグリーン（代表取締役：佐藤 征也）

	<b>「苔栽培による鉄道高架下の有効活用」</b> 高架下など未利用地における苔栽培を通じた、鉄道沿線自社施設の防草効果、緑化推進などの環境浄化機能の実証を行います。
	実施箇所：新潟・郡山駅周辺高架下、川崎駅周辺他自社施設
	実施期間：2019年11月～2020年3月末


(6) 株式会社コークッキング (代表取締役 CEO : 川越 一磨)

	<b>「従業員向けフードシェアリングサービスによるエキナカフードロス削減」</b> エキナカの廃棄予定の食事可能な食品を、従業員向けに提供することで、駅全体で無理なくフードロスの削減を目指します。
	実施箇所：東京駅
	実施期間：2020年1月中旬～2月中旬


(7) コネクテッドロボティクス株式会社 (代表取締役 : 沢登 哲也)

	<b>「駅そば自動ロボットの開発による店舗効率化」</b> 調理ロボットに特化した AI や制御技術を活用し、駅そば業態をロボットテクノロジーで革新することで、人手不足の解決と味の均一化による飲食店の価値向上の実現を図ります。
	実施箇所：東小金井駅 (予定)
	実施期間：2020年3月頃


(8) シービークラウド株式会社 (代表取締役 CEO : 松本 隆一)

	<b>「駅とフリーランスドライバーを掛け合わせた手ぶら観光の実現」</b> フリーランスドライバーと荷主を即時につなぐ配送マッチングプラットフォーム「PickGo」を活用し、エキナカで預けた荷物を宿泊先のホテルへ配送することで、手ぶら観光を促進します。
	実施箇所：東京駅
	実施期間：2019年11月頃～


(9) 株式会社ZMP (代表取締役社長 : 谷口 恒)

	<b>「自動運転技術を活用した宅配ロボットによる無人フードデリバリー」</b> 自動運転技術開発による培われた自立走行技術を活用して、野外イベントでのテーブルオーダーからの自動宅配ロボットによる無人での飲食物提供を実現させます。
	実施箇所：未定
	実施期間：2020年2月


(10) 株式会社センサーズ・アンド・ワークス (代表取締役 : 堀江 聡)

	<b>「焦電型赤外線センシング技術を活用した乗車率把握と流動分析」</b> 電池で長時間駆動可能な赤外線人検知センサーモジュール技術を活用して、いままで把握の難しかった車両内や駅の混雑状況をリアルタイムで可視化し、空調制御や導線整備などのサービス向上への活用を目指します。
	実施箇所：在来線車内 他
	実施期間：2020年1月頃


(11) 株式会社タイミー（代表取締役社長：小川 嶺）

	<b>「ワークシェアサービスを活用した人手不足解消と新しい働き方提案」</b> ワークシェアサービスアプリを利用して、制約条件の多い商業施設での OB・OG を活用した人手不足解消と、交通インフラと連携した地方における新しい働き方の提案を行います。
	実施箇所：JR 東日本関連商業施設 他
	実施期間：2019年11月頃


(12) 株式会社NearMe（代表取締役社長：高原 幸一郎）

	<b>「観光タクシーの相乗りマッチングサービスによる“観光 MaaS”の実現」</b> AI を活用した観光タクシーの相乗りマッチングプラットフォームサービスを構築することで、お得で便利な新しい移動体験を提供し、新潟市内の観光の促進を図ります。
	実施箇所：新潟駅、新潟市内
	実施期間：2020年1月中旬～3月末


(13) 日本環境設計株式会社（代表取締役社長：高尾 正樹）

	<b>「駅からはじまる次世代リサイクル技術による SDGs の実現」</b> クローズドループ「服から服をつくる技術」などの次世代のケミカルリサイクル技術を活用し、エキナカで回収した服やペットボトルの再資源化と新商品開発を行い、SDGs 達成を目指します。
	実施箇所：品川駅 他
	実施期間：2020年2月


(14) 一般社団法人Next Commons Lab（代表理事：林 篤志）

	<b>「駅を拠点とした地域コーディネーターによる新たな地域コミュニティの実現」</b> 常磐線の全線開通に合わせて、駅に地域コーディネーターを配置することで、人が集まるソフト開発が行われ、地域コミュニティのハブ機能となって生まれ変わり、地域の活性化と関係人口の創出を図ります。
	実施箇所：小高駅 他
	実施期間：2020年3月頃


(15) 株式会社バイオーム（代表取締役：藤木 庄五郎）

	<b>「AI 動植物判定ゲームアプリによる生物多様性の調査と流動促進の実現」</b> 動植物の種別判定 AI を活用した、いきものコレクションアプリを通して、ゲーム感覚で楽しみながら沿線を回遊してもらうだけでなく、得られた動植物ビックデータを収集し、分布データを環境保全につながる事業に活かすことを目指します。
	実施箇所：JR 東日本、西日本、九州エリア
	実施期間：2020年2月下旬～3月末


(16) ピクシーダストテクノロジーズ株式会社（代表取締役 CEO：落合 陽一）

	<b>「指向性スピーカーによる新たな広告モデルと騒音の減音化の実証」</b> 指向性スピーカーを活用した広告事業モデルの検証とともに、音響マテリアルを活用した騒音の無音化の検証を図ります。
	実施箇所：未定
	実施期間：2019年12月、2020年1月～2月頃


(17) 株式会社ブイシンク（代表取締役社長：井部 孝也）

	<b>「ウルトラ自販機によるエキナカでの無人駅弁・スイーツ販売」</b> 新しい機構の自動販売機を開発することで、今まで商品の販売が不可能だった駅弁やスイーツなど、鮮度の高い商品の取扱いを可能にし、営業時間の拡張や省スペースでの営業展開を図り、サービス向上を目指します。
	実施箇所：STARTUP_STATION（大宮駅西口イベントスペース）他
	実施期間：2019年12月～


(18) ブランテックインターナショナル株式会社（代表取締役：廣兼 美雄）

	<b>「瞬間凍結新技術による地域鮮魚の首都圏流通拡大」</b> 新しい瞬間凍結技術である HybridICE を活用することで、鮮度を維持したまままでの地域鮮魚の流通性を高めるとともに、低コストでの輸送を実現することで新たな首都圏への鮮魚の流通網構築を目指します。
	実施箇所：STARTUP_STATION（大宮駅西口イベントスペース）他
	実施期間：2019年12月～


(19) 株式会社ヘラルボニー（代表取締役社長：松田 崇弥）

	<b>「障害者のアート作品を活用した駅ミュージアムとアップサイクルによる作品の商品化の実現」</b> 知的障害のある方のアート作品を活用して、駅ミュージアムを実現するとともに、回収したアート品をアップサイクルし商品化することで、アートによる収益化を実現し、知的障害者支援へ収益を還元する持続的なビジネスモデルを構築します。
	実施箇所：吉祥寺駅、品川駅
	実施期間：2019年12月、2020年2月

(20) MIRAI SAKE COMPANY 株式会社（代表取締役 CEO：山本 祐也）

	<b>「AI 味覚判定を活用した日本酒レコメンドサービスによる新しい観光提案」</b> AIによる味覚判定を通して、一人一人にあった日本酒や酒蔵・飲食店を提案する日本酒専門の観光案内所兼マイクロバーを開設し、新たな顧客体験を提供することで、新潟市内の観光促進を図ります。
	実施箇所：STARTUP_STATION（大宮駅西口イベントスペース）、新潟駅
	実施期間：2020年2月中旬～3月中旬

(21) 株式会社<sup>リベラウェア</sup>Liberaware (代表取締役 CEO : 関 弘圭)

	<b>「小型ドローンを活用した建設現場の可視化」</b>
	世界最小・最軽量の産業用ドローンを活用することで、駅の天井や幅狭で人が入れない場所の点検などを可能にし、効率化と事故の未然防止を図ります。
	実施箇所：未定
	実施期間：2020年2月頃